

I 策定の目的と期間

1 アクションプラン策定の目的

国の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」に基づき、かほく市における各種計画や戦略及び方針の策定や改訂に当たっては、SDGsの要素を最大限に反映し、SDGsの理念である「誰一人取り残さない持続可能で包摂性のある社会の実現」のため、SDGsの17のゴール及び169のターゲットを踏まえた、まちづくりとSDGsの目標達成に向けた取り組みを推進する。

2 アクションプランの期間

SDGsが2030年をゴールとした目標であることから、取り組み期間を2030年までとする。

III SDGs推進に向けた取り組み

1 市政におけるSDGs推進の取り組み

第2次総合計画において各種施策の推進にあたっては、SDGsの目標を踏まえ推進していくこととし、市政における各分野での各種計画や戦略及び方針の策定や改訂にあたり、SDGsの要素を反映及び目標の達成に寄与し、各種施策を推進することとする。さらにSDGsの17の目標に関連づく政策・施策にはアイコンを付することとする。

2 SDGsの理解促進と普及啓発の取り組み

市民や団体、事業者等によるSDGsの達成に向けた主体的な取り組みの推進を図るため、SDGsの関連性の高い事業やイベント等の実施にあたり、市民向けの広告物等に、SDGsの17の目標との関連性を示すこととし、アイコンを付してSDGsの理解促進と普及啓発に取り組むこととする。

3 多様なステークホルダーとの連携創出の取り組み

SDGsを介した市民、企業、団体等の地域の多様なステークホルダーとの連携に努め、地域課題の解決に取り組むこととする。

II アクションプランの基本的な考え方

このアクションプランは、かほく市のSDGsの推進に向けての取り組みを定めることにより、SDGsの理念を市政に取り込み、「第2次かほく市総合計画（2016-2025）」の基本理念である「海とみどりに抱かれた、にぎわいあふれるまち～人が集い、人を育み、そして発展を続けるまち～」の実現に向け、SDGsと連動した施策の展開を図るものとする。

■ 基本理念（まちづくりのテーマ）

『海とみどりに抱かれた、にぎわいあふれるまち』

～人が集い、人を育み、そして発展を続けるまち～

■ まちづくりの視点

市民意向やかほく市を取り巻く状況等から、基本理念の下で、かほく市が目指すべき方向性として、以下の4つのまちづくりの視点を設定します。

- ①『発展・活力』 ～産業が発展し続ける、便利で活力のあるまちづくり～
- ②『交流・定住』 ～豊かな自然と共に生きていく、住み続けたいと思えるまちづくり～
- ③『安全・安心』 ～人を守り、安心して暮らせるまちづくり～
- ④『保全・育成』 ～かほく市の礎となる自然や人・ものを次代に引き継ぐまちづくり～

